

P831159.JPG 2019/06/29

元治元年六月二十五日より元治元年六月廿九日まで

P831159 right

廿五日午 晴

宅調、野宮(市)伴志願筋にて来る、宮原(寿)志願筋にて来り面す、野口(源右)来り、分家源兵衛家眷(*1)

等世話受し謝として大籠入魚許多(あまた)贈らる、面す、右籠中の鯛二尾を以て、松盛亭へ暑中尋問す、同断

二大鮑を以、菊池(豫)を尋問す、藤左衛門(亜)ミニストル宿寺引合済より来る、藤山稽古に来る、例の設

あり、須崎(金)(正覚)同道来り、小品持参、酒飯を設く

廿六日未 晴

松盛亭稽古に来る、五郎生来り、京地平安の信を聞く、京地佐久間(介)より雁書届く
出 殿

沢左近小田(又)昨本(心)門被仰付し歟、岡本(口)暗殺せられし旨

廿七日申 晴

柳亭稽古として来る、出 殿、町田(耕)近藤(ミチ)より暑見舞状届く、石川(又)主税(口)よりも同断

P831159 left

廿八日酉 晴

前田(善)来り面を乞う辞せり、出 殿、浮浪躰輩のもの三(口)人程新宿迄押し来りし由、又は

式百人許千住関門へ越来りし由、或は千人隊松戸、御関所へ越、留守雑説紛に其人数の多寡定り

ならず兎に角、当今水府公の御措置愚敷に付、右強訴の趣迄なる由杯申合へり

廿九日戌 晴夕曇

金港より急用状を以、今夕李岡士出府の義申来る、右差留方出張の義豊州(口)順に付、即時申達す

承知の返書来る、豊州即時出張とて談判筋打合として来る、寺山(佐)来る、出 殿
因幡守殿御老中格縫殿殿参政 並信州同役被命、広沢(悦)暑見舞に来り、蜜柑酒一小

壇を贈り別手組預の趣頼聞る

*1:家眷(かけん)、同じ家の人々

(口)内は細字双行(一行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。
【文字判読不可】、■は、文章の一部に汚れあり、虫食いにより文字が無い等です。